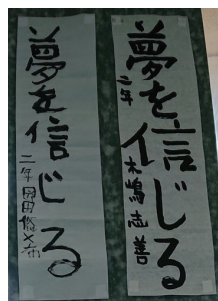


明石市立大蔵中学校だより「2021年1月25日(第96号)」

書あり 師あり 友ありて



来年度の主な明石市教育予算について

学校長 平田 高之

このことについて、1月22日に、明石市の新年度予算編成作成状況について、市長による記者発表がされ、一部テレビ・新聞報道がされました。本市では、「SDGs未来安心都市・明石へ」そして「ウイズコロナ社会への対応」という基本的な考え方のもと、「こどもを核としたまちづくり」「すべての人にやさしいまちづくり」を重点的な取組のひとつとして予算編成しようとしています。特に、本校に
関係する教育関係予算について、明石市ホームページにアップされました「予算編成状況説明資料」をもとにお知らせします。なお、本予算については、3月議会に上程され、議会により議決を受けて最終決定されます。また、「GIGA スクールの推進」については、すでに補正予算で執行され、一人一台のタブレット端末が本年度中に整備され、来年度から活用できるようになっています。

※ () のページ数は、「新年度の主な取り組み(案)」の掲載ページです。

1 中学校1年生への35人学級の導入(P17・9,150万円)

小学校教育から中学校教育への学びの接続を円滑に行い、中1ギャップの解消を図るとともに「個に応じたきめこまやかな教育」を実施するため、市独自に、中学校第1学年を35人学級とするものです。本校の新1年生については、40人学級では5学級ですが、35人学級になれば6学級になる予定です。なお、2・3年生については40人学級のままです。

2 学校給食の充実(P19・1,300万円)

学校での地産地消の推進、特別献立によりコロナ禍の児童生徒や地場産物を元気づけるため、明石市産の食材を使用した特別献立が年2回程度提供されます。

3 18歳のこども医療費無償化(P23・1億6,521万円)

中学校卒業後の公的支援が少ないことから、高校生がいるご家庭にとっては子育てにかかる経済的負担が大きく、さらに、コロナ禍において、生活は一層厳しくなっていることから、こども医療費助成制度による医療費の無償化の対象者が、18歳到達以降の3月31日まで拡充されます。なお、実施予定時期は2021年7月からとなっています。

4 こども夢応援プロジェクト事業(P24・5,950万円)

親の意思や経済的状況に依拠せず、自らの意思で安心して夢に向かうことができるよう、高等学校進学に向けた給付型奨学金の給付と、学習・生活のサポートが行われる、他市にはない本市独自の給付型という、中学校現場にとっては大変素晴らしい事業です。本年度は、募集人数が30名のところ多数の応募があり、特例的に110名が選ばれました。本校では募集した生徒全員を対象に選んで頂きました。来年度は100名の募集に大幅拡充されます。

事業内容は

○給付型奨学金の支給

- ① 入学準備金：30万円
- ② 在学時支援金：毎月1万円（3年間）

○奨学生を対象とした学習・生活サポート

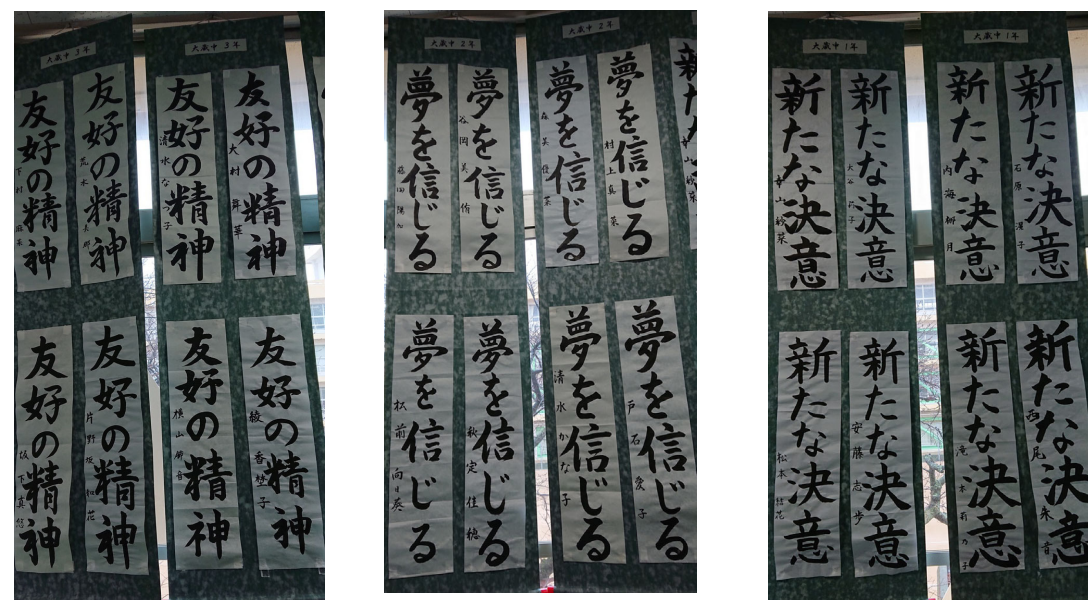
- ① 学習支援
- ② 学校生活支援

対象は新3年生（現2年）になります。事業が決定されましたら、来年度に募集案内等が届きますのでご案内いたします。

この他にも、「SDGsの推進」「LGBTQ+/SOGIE 施策の推進」等、本市独自のさまざまな取組が予算編成されていますので、是非、明石市ホームページ「令和3年度当初予算編成状況について」の「新年度の主な取り組み(案)」をご覧くださいければと思います。

書初め展・明石っ子造形展について

このことについて、ご案内していましたが通り、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために、残念ながら本年度は開催中止となったところです。書初めにつきましては、素晴らしい力作ばかりです。本校職員室前に掲示しております。



いつもありがとう！カルチャー部の皆さん

カルチャー部は、茶道・華道に手芸等を中心に活動していますが、金曜日には、茶道の金丸 宗美先生、華道の光永 裕子先生に来て頂きご指導を受けています。いつも金曜日の放課後には、学校玄関、校長室前、職員室前に、季節に応じたアイデアあふれる素晴らしい作品を飾ってくださるので、毎週金曜日を楽しみにしています。その作品についてはHPでも紹介していますのでご覧ください。今回の職員室前のお花には桜が入っていました！

